

2009年3月期 第2四半期 (2008年4月～9月) 決算説明会

2008. 10. 29

代表取締役社長 北川 三雄

新日鉄ソリューションズ株式会社

2009年3月期上期 連結決算ハイライト



NS Solutions

(億円)

	2008/3期 1H(実績) A	2009/3期 1H(実績) B	対前年同期 差異 B-A	2009/3期 1H(前回(7月) 見通し) D	対前回見通 し差異 B-D
売上高	760	764	+ 4	740	+ 24
業務ソリューション	447	440	- 7		
基盤ソリューション	102	88	- 14		
ビジネスサービス	211	236	+ 25		
売上総利益	165	154	- 11		
<売上総利益率>	<21.8%>	<20.1%>	<- 1.7%>		
販管費	-102	-111	- 9		
営業利益	63	43	- 20	48	- 5
経常利益	65	46	- 19	50	- 4
当期純利益	35	23	- 12	27	- 4

2009年3月期上期 四半期別連結業績



NS Solutions

(億円)

	2008/3期(実績)			2009/3期(実績)			対前年同期差異		
	1Q A	2Q B	1H C	1Q D	2Q E	1H F	1Q D-A	2Q E-B	1H F-C
売上高	330	430	760	348	416	764	+18	-14	+4
業務ソリューション	189	258	447	193	247	440	+4	-11	-7
基盤ソリューション	53	49	102	42	46	88	-11	-3	-14
ビジネスサービス	88	123	211	113	123	236	+25	-	+25
売上総利益	77	88	165	72	82	154	-5	-6	-11
<売上総利益率>	<23.5%>	<20.4%>	<21.8%>	<20.8%>	<19.5%>	<20.1%>	<- 2.7%>	<- 0.9%>	<- 1.7%>
販管費	-51	-51	-102	-58	-53	-111	-7	-2	-9
営業利益	26	37	63	14	29	43	-12	-8	-20
経常利益	28	37	65	16	30	46	-12	-7	-19
当期純利益	15	20	35	7	16	23	-8	-4	-12

サービス・顧客業種別の売上高（2009年3月期上期実績）



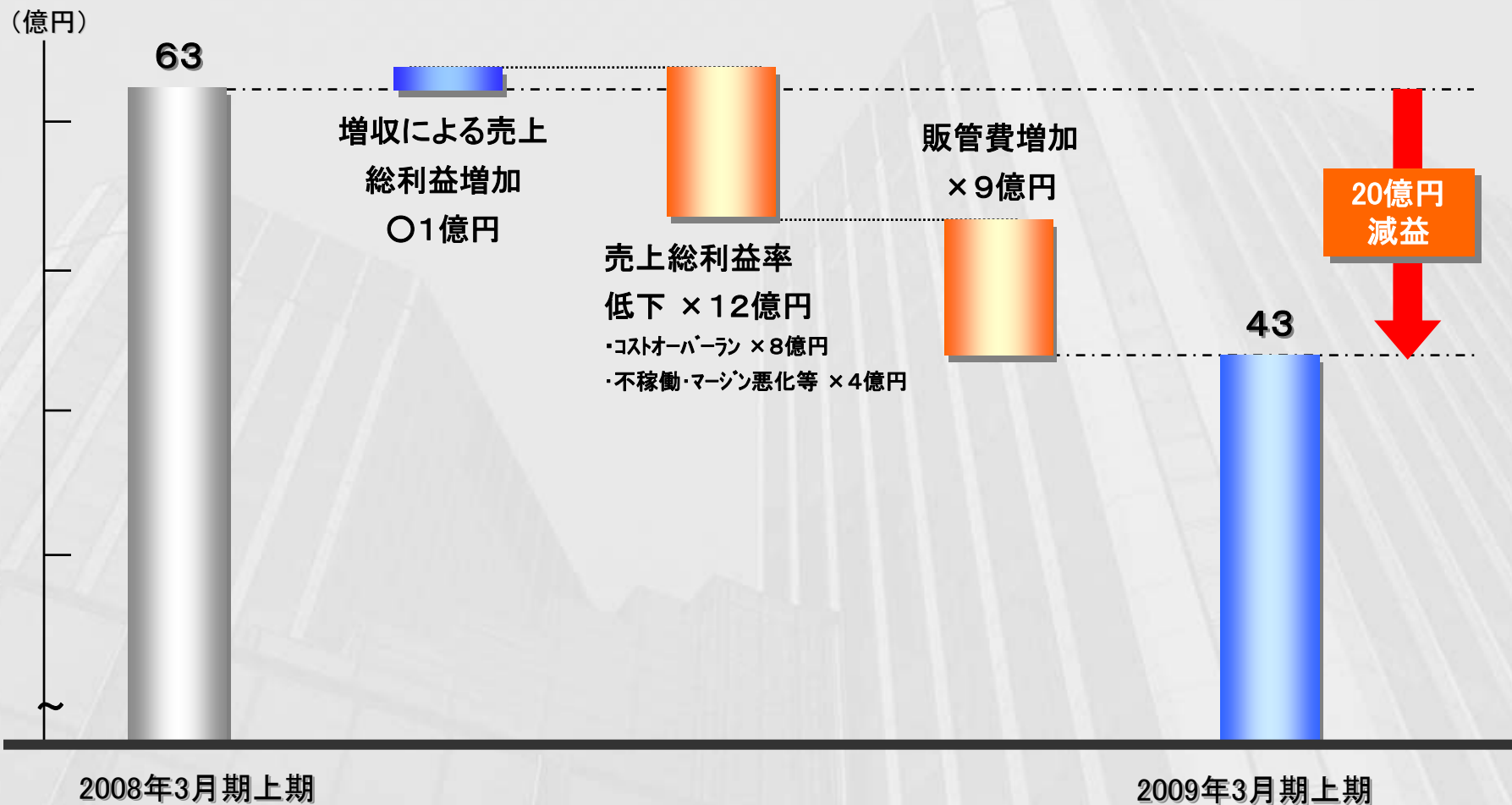
NS Solutions

（億円）

	2008/3期 1H(実績) A	2009/3期 1H(実績) B	対前年同期 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	379	358	- 21	-
産業・流通・サービス	179	163	- 16	製造業、流通・サービス業のIT投資抑制
金融	137	123	- 14	メガバンク、地銀の減
社会公共他	63	72	+ 9	中央省庁向け増
基盤ソリューション	91	77	- 14	プロダクト販売が低調
ビジネスサービス	209	234	+ 25	鉄鋼向け中心に増
単独計	679	669	- 10	-
子会社等	81	95	+ 14	JV、子会社で拡大
合計	760	764	+ 4	-

2009年3月期上期 連結営業利益分析

対前年同期



サービス・顧客業種別の市場認識

サービス・顧客業種	市場認識	市場動向
業務ソリューション		
産業・流通・サービス	原材料価格等の高騰、国内外市場の低迷、円高等、収益減少を背景とする、IT投資規模縮小	→
金融	サブプライム問題等を背景とする業況悪化、さらに世界的金融危機により一層慎重なIT投資スタンス	→
公共	IT予算横ばい・微減傾向の中、競争が激化	→
基盤ソリューション	全体的な需要低迷の中でプロダクト販売は引き続き低調	→
ビジネスサービス	新日鉄向けは進行中の大型案件の本格化等で堅調 データセンターは需給軟化	→

2009年3月期 連結業績見通し



NS Solutions

(億円)

	2008/3期 (実績) A	2009/3期 (見通し) B	対前年 差異 B-A	2009/3期 (前回見通し*) C	対前回見 通し差異 B-C
売上高	1,654	1,650	- 4	1,700	- 50
業務ソリューション	1,019	995	- 24	1,055	- 60
基盤ソリューション	222	200	- 22	220	- 20
ビジネスサービス	413	455	+ 42	425	+ 30
売上総利益	356	346	- 10	374	- 28
<売上総利益率>	<21.5%>	<21.0%>	<- 0.5%>	<22.0%>	<- 1.0%>
販管費	-207	-220	- 13	-218	- 2
営業利益	149	126	- 23	156	- 30
経常利益	152	130	- 22	160	- 30
当期純利益	84	70	- 14	89	- 19

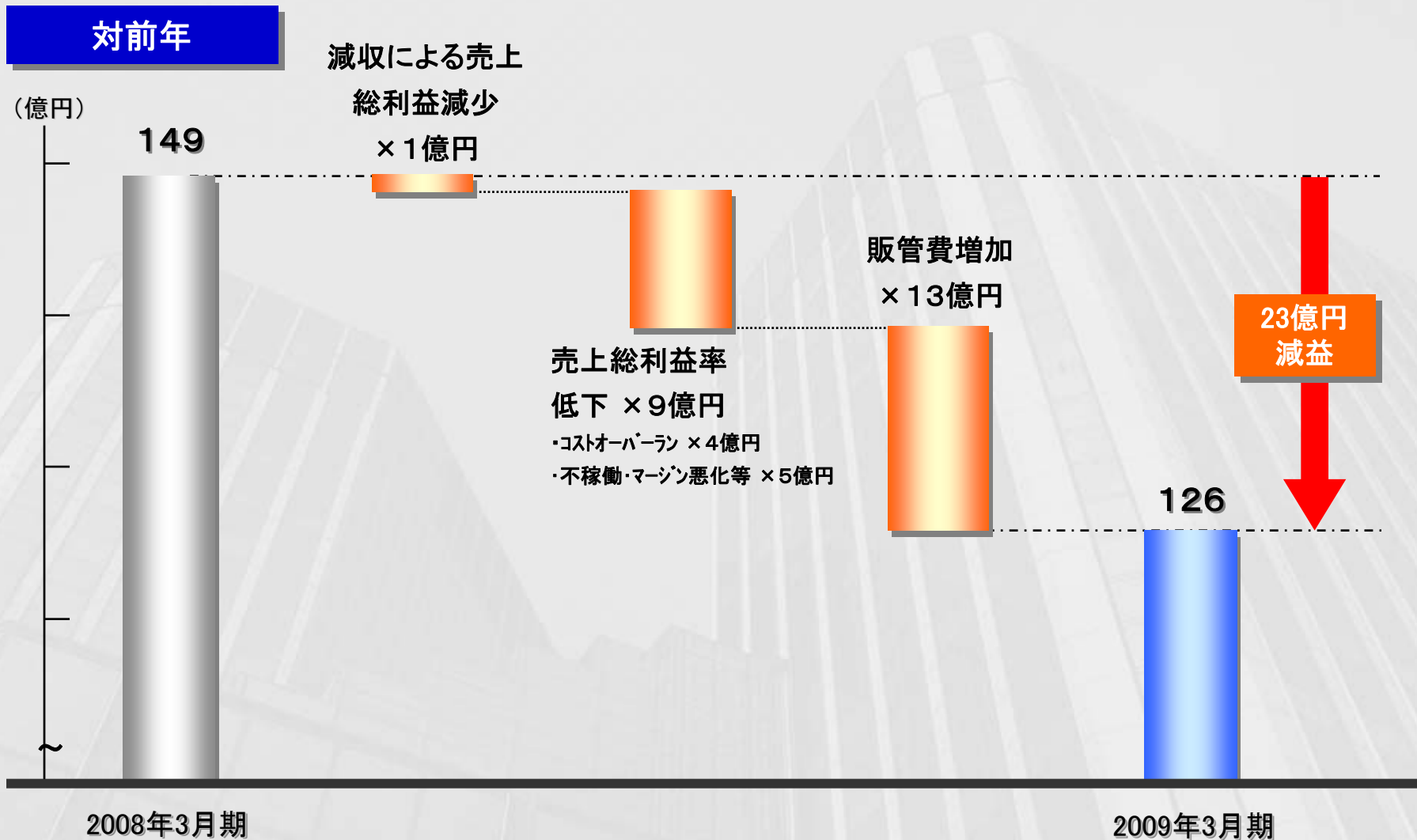
* 前回見通しは4月25日公表値を使用しております(7月31日公表の年度業績は、4月25日公表値をスライド)。

サービス・顧客業種別の売上高（2009年3月期見通し）

（億円）

	2008/3期 （実績） A	2009/3期 （見通し） B	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	865	820	- 45	-
産業・流通・サービス	386	360	- 26	製造、流通のIT投資縮小
金融	276	255	- 21	金融危機等を背景としたIT投資抑制
社会公其他	203	205	+ 2	中央省庁向け中心に横ばい
基盤ソリューション	193	180	- 13	プロダクト販売が低調
ビジネスサービス	409	450	+ 41	鉄鋼向け中心に堅調
単独計	1,467	1,450	- 17	-
子会社等	187	200	+ 13	JV、子会社で拡大
合計	1,654	1,650	- 4	

2009年3月期 連結営業利益分析



2009年3月期 上下別連結業績見通し



NS Solutions

(億円)

	2008/3期(実績)		2009/3期(見通し)		対前年差異	
	1H A	2H B	1H C	2H D	1H C-A	2H D-B
売上高	760	894	764	886	+ 4	- 8
業務ソリューション	447	572	440	555	- 7	- 17
基盤ソリューション	102	120	88	112	- 14	- 8
ビジネスサービス	211	202	236	219	+ 25	+ 17
売上総利益 <売上総利益率>	165 <21.8%>	191 <21.4%>	154 <20.1%>	192 <21.7%>	- 11 <- 1.7%>	+ 1 <+ 0.3%>
販管費	-102	-105	-111	-109	- 9	- 4
営業利益	63	86	43	83	- 20	- 3
経常利益	65	87	46	84	- 19	- 3
当期純利益	35	49	23	47	- 12	- 2
期首受注残高	440	546	479	587	+ 39	+ 41

進捗状況

収益力の拡充・強化

- 受注力強化と先進トータルソリューションの推進
- 連結経営管理体制の整備

(1) 収益改善対策の推進

緊急収益改善対策会議で検討、実施中

- ・受注力強化
- ・プロジェクトリスク管理強化徹底
- ・販管費効率化推進

(2) 先進技術力の強化

- ・戦略的統合基盤と全体最適トータルソリューションの拡充
- ・BI(Business Intelligence)等先進ソリューションの構築

システム構築実力の向上

- ソフトウェア開発センター拡充
- NSSOL WAY推進

ソフトウェア開発センター(2008/04/01設立)拡充

- 開発環境整備継続
- Project Management System開発

人材育成の継続的推進

- キャリアパス・ローテーション・能力開発:三位一体の人材育成強化

- NSSOL版ITスキル標準による戦力分析
- 2008年度版技術標準に基づく能力開発体系整備

受注力の強化

- 製販一体によるソリューション提案力強化(アカウント軸、ソリューション軸)
- リテンション比率向上
- SLC※1トータルソリューション推進

プロジェクトリスク管理強化・徹底

- プロジェクトリスク管理体制(プロジェクト方針会議、PMO※2体制、QMO※3体制)再点検による機能補正・再強化(基本設計完了予定時期における次フェーズ移行判定)
- 実行中案件の棚卸し、総点検
- プロジェクトリスク感度向上のための小集団活動の全社展開
- 契約管理のレベルアップ

販管費効率化

- 営業支援の徹底効率化
- 経費節減

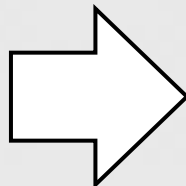
※1 SLC: System Life Cycle

※2 PMO: Project Management Office

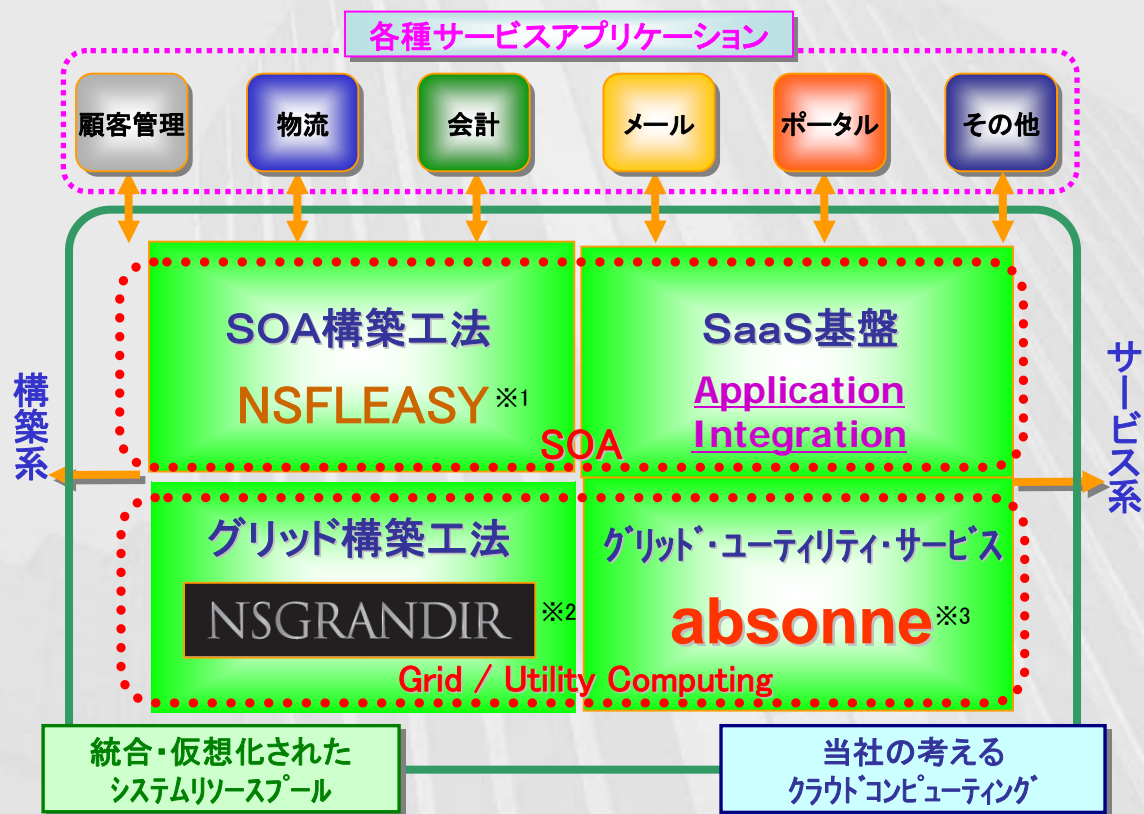
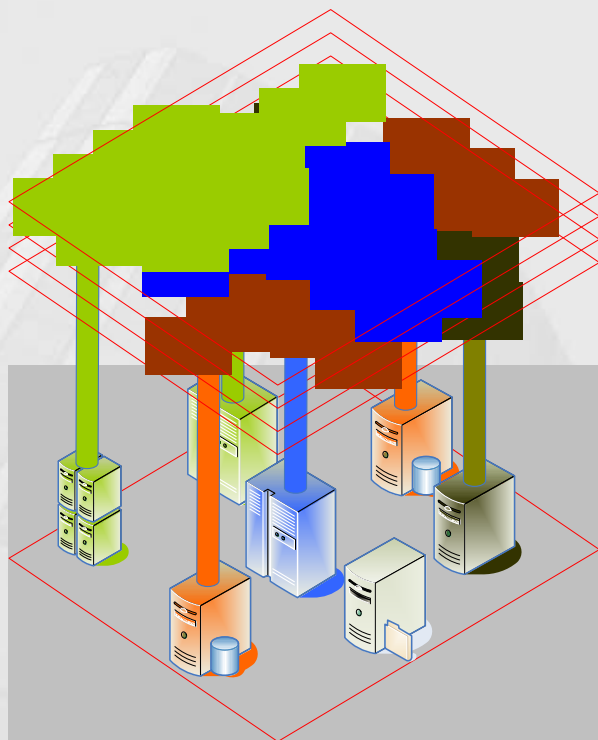
※3 QMO: Quality Management Office

戦略的統合基盤と全体最適トータルソリューションの拡充

個別に構築されたアプリケーション群とバラバラに導入されたインフラ



変化への対応力に富んだ全体最適のシステム構築



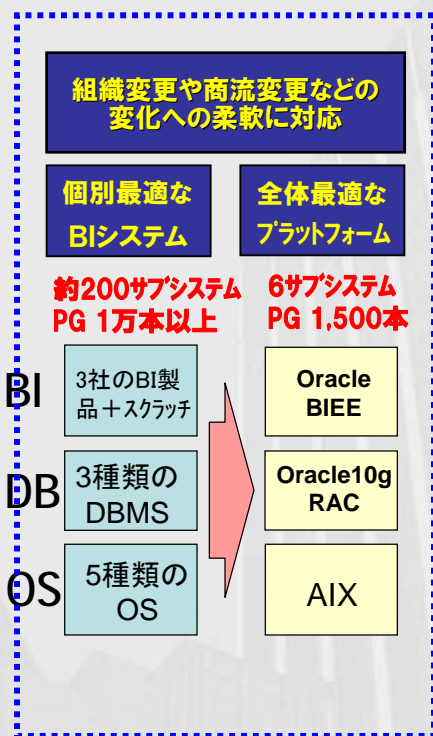
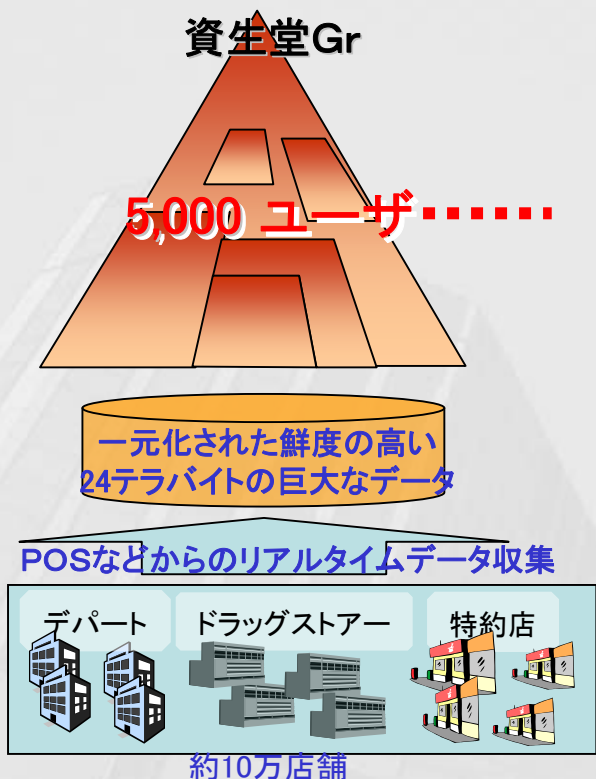
※1 NSFLEASY: NS Solutions Federation of Loosely coupled Entity group by Application Synchronization

※2 NSGRANDIR: NS Solutions Grid And Dynamic Infrastructure

※3 absonne: advanced business space on network *介護福祉事業者向け業務ASPサービスの構築

大規模 Enterprise BI の構築

(資生堂様の構築事例)



- 多次元軸(ブランド軸、製品軸、地域軸、販売チャネル軸)での経営情報分析
- 多数のユーザーへの鮮度高い情報提供
- 分析レポート&手法の共有(PDCAの分権化)

<各BUへのシステム研究開発センターの技術サポート体制>



SLC標準・SI支援システムの教育・普及活動の推進

- SLC標準/ガイドブックの社内教育
- SI支援システムのデモンストレーション

SI支援システムの各種機能の追加・改善

- プロジェクトマネジメント支援機能
SLC標準/ガイドブック準拠の業務フローをSI支援システムに取り込み
中核機能の拡充
- 成果物の品質向上支援機能
プログラム自動生成/ソースコード検査等各種ツール類の整備拡充

SI支援システムの導入・運用支援サービスの提供

株式会社金融エンジニアリング・グループ(FEG)の株式100%取得

同社のリテールビジネスに関するリスク管理、顧客データを活用したデータマイニングの実力を活かし、金融機関向けリスク管理システムのトップベンダーを目指す。

●FEGの主な事業内容

金融分野の数理分析およびデータマイニングを中心とする調査、分析、コンサルティング、ならびにソフトウェア開発

●設立 1989年4月26日

●従業員数 67名(2008年5月1日現在)

●業績推移

	(億円)		
	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期
売上高	16	19	17
経常利益	3	4	2

●取得日 2008年5月28日(株券受領日)

※損益計算書、キャッシュフローは第2四半期決算から連結開始。

●取得金額 37.5億円

- ◇安定配当と将来の事業拡大等に備えた内部留保の確保
- ◇株主への利益還元



- ・第2四半期末 1株当たり 22.50円を配当いたします。
 - ・期末 1株当たり 22.50円を配当する予定です。
- これにより、年間配当金は、当初公表通り45.00円となる見込みです。
- (注)第1四半期末及び第3四半期末を基準日とする配当は行っておりません。

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。従って、この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



<http://www.ns-sol.co.jp/>

NS Solutions、NSSOL、NSロゴ、NSFLEASY、NSGRANDIR、absonneは、新日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。